

FO 001-S1

沖電気

MSM66Q589用

フラッシュライタ (AF200) 用コントロールモジュール

目 次

1. 概要
2. 仕様
3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ
4. ご利用上の注意事項
5. 保守サービス

初版発行

' 96. 10. 08

Ver. 1. 0

1. 概要

FO 001-S1はAF200アドバンストオンボードフラッシュマイコンプログラム用のコントロールモジュールです。

沖電気製MSM66Q589用のオンボードフラッシュメモリ書き込み制御情報を書き込んだPCカードと専用のプローブコネクタ（/PRBオプション）から成ります。

制御情報エリア以外は、DOSファイル領域として利用でき、この領域にホストコンピュータ上で生成したオブジェクトファイルを保管することができます。

また、フラッシュマイコンプログラマ上で生成したモディファイも、このDOS領域に格納されます。

また指定（/P2M、/P4M）により、2M、4Mバイトのメモリカードが指定できます。

< 禁忌手・注意事項 >

1. コントロールモジュール（PCカード）は、絶対にイニシャライズ（フォーマット）しないで下さい。
コントロールモジュールには、お客様のプログラムが入るDOS領域の他にフラッシュライタのコントロールプログラム等も入っています。
お客様がイニシャライズされるとこのコントロールプログラムが破壊されます。
2. デバイスファンクション又はファンクションの実行中にコントロールモジュールを着脱しないで下さい。
PCカードの宿命ですがフィロピィと同様にPCカードへのアクセス中メディアを抜き差しすることはできません。
3. AF200、お客様のシステム投入順序を必ず守って下さい。
投入順序は、AF200の方を先に入れ、後切りです。

2. 仕様

2-1 F0001の仕様は次の通りです。

項 目	仕 様
1. 対応マイコン	沖電気製 MSM66Q589
2. 書き込み方式	沖電気シリアル書き込み方式
3. ターゲットインタフェイス	CSI
4. 転送レート	500K/250K/125K/62.5K ボー
5. DOSファイル容量域	約1,700Kバイト (／P2M) 約3,000Kバイト (／P4M)
6. その他	

3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

オンボードフラッシュマイコンプログラマ (AF200) とターゲットシステムとの接続に際しては、ターゲットシステム側で若干の回路上の配慮が必要となります。

3-1 ターゲットシステム上の配慮

本器では、3-3に示す専用ケーブルでターゲットシステムとの接続をいたします。

本器付属 (オプション) 品以外のプローブケーブルで、本器をご利用にならないで下さい。

また、本器とユーザシステムの接続参考図をfig 3-1に示します。

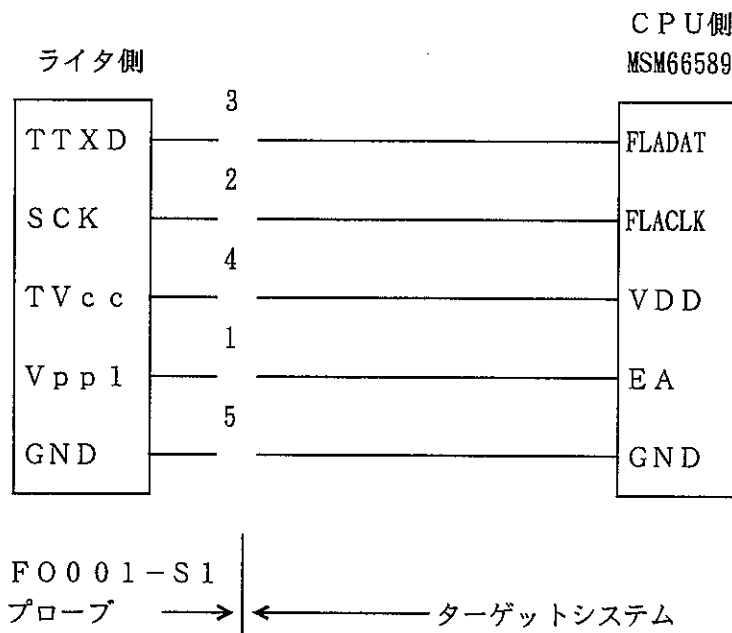
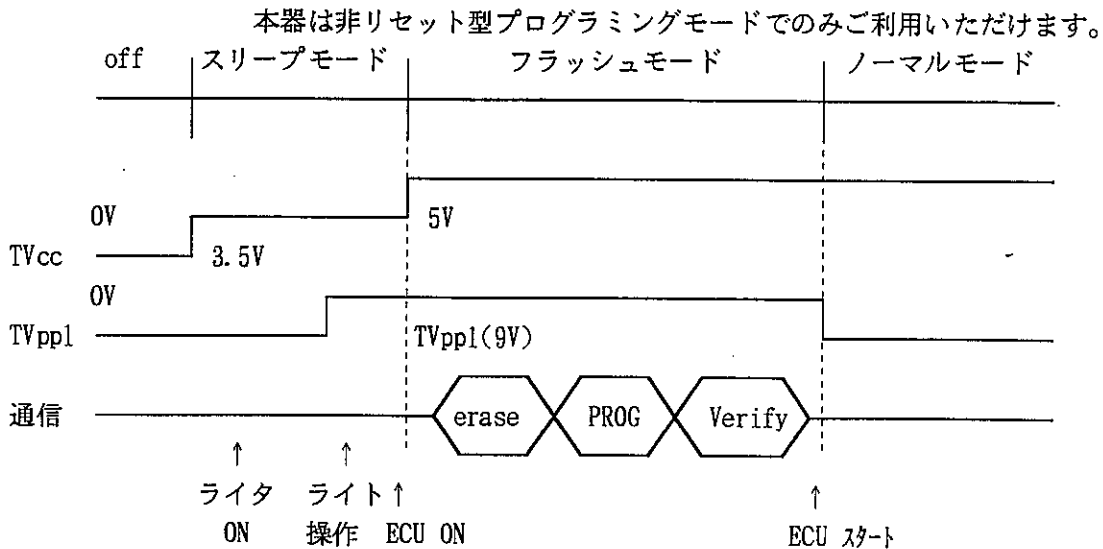


fig 3-1 ターゲットシステムとの接続図

3-2 制御信号波形



- ① CPUをスリープモードに入れる。(TVcc=3.5V or 5V)
ライタをONする。
- ② ライタでライト操作を行う。
- ③ ライタはTVccが2.3V未満なら接続エラーとして処理中断。
TVcc 2.3V以上ならTVpp1を印加。
- ④ ECUをONにする。
- ⑤ TVccが4.5V以上ならライト動作開始。
TVccが4.5V未満ならWAITし、表示する。
- ⑥ erase、Program、Verify動作。
- ⑦ ⑥終了後、TVpp1を0V。
- ⑧ ECUは自動的に再スタート。

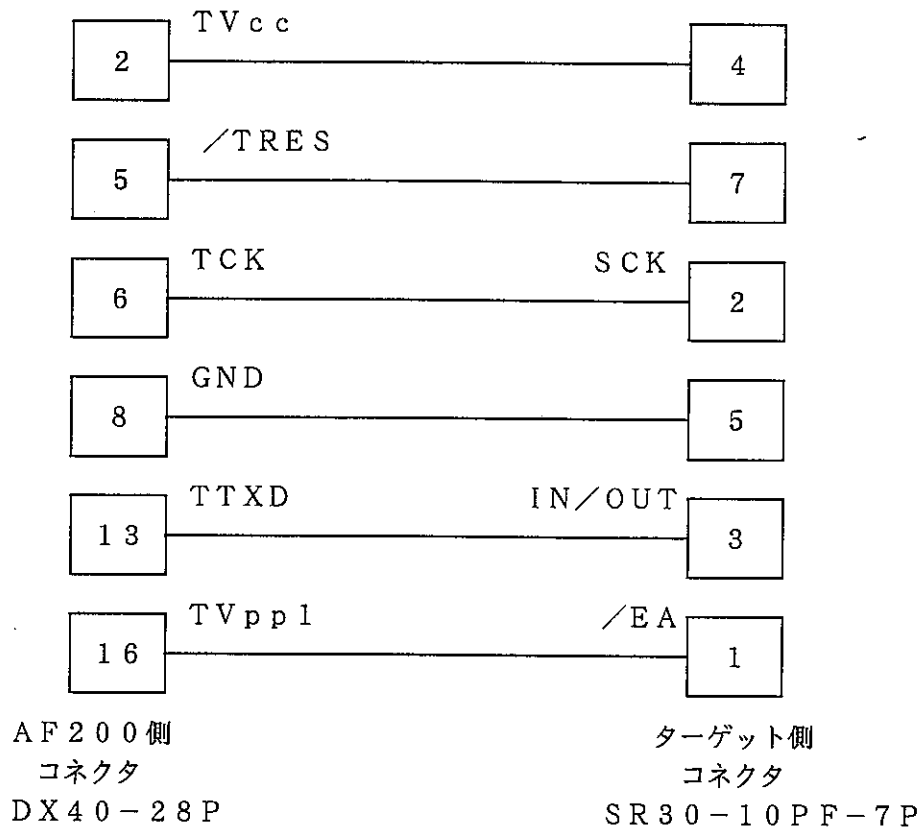
注) 本器をリセットスタート型プログラミングモードでご利用になるには、
プローブの変更など一部の仕様変更が必要です。

編集モード△ ▽では、フラッシュライタのリセットキーが押されるまで
Vpp1が印加されつづけます。

3-3 プローブケーブル (オプション)

プローブケーブルの接続図は下記のとおりです。

プローブは、FO001-S1/PRBの指定時のみ添付されます。



4. ご利用上の注意事項

- ①このコントロールモジュールはAF200専用のコントロールモジュールです。
他のフラッシュプログラマ用には利用しないで下さい。
- ②このコントロールモジュールは、指定されたマイコン専用のもので、
他のマイコンへの書き込みには、それ専用のコントロールモジュールを利用して下さい。
マイコンとの対応を誤って利用すると、ターゲットシステムを破壊することがあります。
- ③本器AF200ターゲットシステムとのインタフェイスIC（本器内部IC）電源用に
数mAの電流をTVcc端子より消費いたします。
- ④コントロールモジュールの電池交換の際は、AF200又はPC上にコントロール
モジュールを実装の上通電状態で、電池の交換をして下さい。
尚、電池の寿命は、常温放置状態で約3年です。

< 禁じ手・注意事項 >

1. コントロールモジュール（PCカード）は、絶対にイニシャライズ（フォーマット）
しないで下さい。
コントロールモジュールには、お客様のプログラムが入るDOS領域の他にフラッシュ
ライタのコントロールプログラム等も入っています。
お客様がイニシャライズされますとこのコントロールプログラムが破壊されます。
2. デバイスファンクション又はファンクションの実行中にコントロールモジュールを
着脱しないで下さい。
PCカードの宿命ですがフィロピィと同様にPCカードへのアクセス中メディアを
抜き差しすることはできません。
3. AF200、お客様のシステム投入順序を必ず守って下さい。
投入順序は、AF200の方を先に入れ、後切りです。

5. 保守サービス

本器のライフタイム保守サービス、ESオプションサービスに関しては、AF200フラッシュライター本体のマニュアルをご参照下さい。